

まちづくりミーティング要旨

1. 団体等の名称 中部学院大学
2. 日 時 平成30年12月19日(水) 16時00分~17時30分
3. 場 所 各務原市役所本庁舎 3階特別会議室
4. 出席者 <参加団体>8名 <市>市長、子育て支援課長
5. テーマ ①ウォーキングを通じた健康づくり ②家庭に対する子育て支援 ほか

(テーマ①：ウォーキングを通じた健康づくり)

【参加者】学びの森などでウォーキングやジョギングをしている方が多くいるので、ウォーキングとジョギングのコースを分けたり、ペース配分がわかるように看板などを設置したりすると、ウォーキングやジョギングをする人がもっと増えるのではないかと思います。

【市長】市ではハイキングコースと、小学校区別でウォーキングコースを設定しています。イベントとしては、10月と12月に「親子ウォーキングGoGo!」、11月に「かかみがはらDEウォーキング2018」を開催しました。また昨年度の「かかみがはらシティーマラソン」では、全国で初めて自衛隊の滑走路を走らせていただきました。今年度は申し込みが終わりましたが、全員で出場できるコースもありますので、ご参加いただきたいと思います。ペース配分について、看板を設置することは難しいですが、他に何かできないか検討したいと思います。

(テーマ②：家庭に対する子育て支援)

【参加者】社会的な養護が必要な子どもたちの対応についてどのように考えていますか。

【参加者】虐待やネグレクトなど、家庭の中での課題に、市で支援する体制があると良いと思います。

【参加者】各務原市は児童養護施設がなく、里親支援制度の話も聞かないので、計画してほしいです。

【市長】市は、子どもの未来応援プランを策定しています。すべての子どもと親が幸せを実感できるまちを基本理念とし、子育て支援施策を実施しながら家庭に対する子育て支援の環境充実を図っています。

市内に5か所ある子ども館には、保育士の方に常駐していただいて、親御さんの悩みを聞いてアドバイスをする体制を作っています。昨年は過去最高の年間約173,000人の方にご来館いただきました。

市では、家庭児童相談室を設置して、専門的知識のある方に携わっていただいています。また、昨年の7月には、学校生活の悩みなどの相談に応じる「教育センターすてっぴ」の開設、障がいを抱える方などの相談に応じる「基幹相談支援センターすまいる」の開設、さらに今年の4月には、妊娠から出産、子育て等の相談に応じる「母子健康包括支援センタークローバー」を開設しました。これら3つの機関は各々で相談にのりますが、3つの機関が連携をすることによって色々なサポート体制を作っているところです。さらに、早期発見、早期対応、切れ目のない支援を行うということで、要保護児童対策地域協議会を設置しています。この協議会は、児童相談所や各務原警察署、岐阜保健所、医師会、民生委員児童委員協議会、市福祉事務所、教育委員会、小中学校、幼稚園、保育所など16の機関で構成されています。これは毎月開催しておりまして、迅速かつ丁寧な対応に努めているところです。

児童養護施設は県が担当しております。市は、子どもと親を引き離すまでに至らない比較的軽度な事案を担当しており、保護者の育児力が向上する援助などを行っています。

里親支援事業は県が主体となって進めているところです。市は大型商業施設等を活用して、里親制度の啓発活動への協力や、施設に入所しているお子さんを夏休みに短期間預かる県の三日里親事業について、里親ボランティアの募集や受付などを行っています。県と市が連携協力することによって、里親さんの発掘に努めているところです。

（ほか：ふれあいバス・ふるさと納税等）

【参加者】岐阜かかみがはら航空宇宙博物館は駅から基地を挟んで反対側という立地なので、例えばレンタサイクルを活用して、駅から行きやすくすると良いと思います。また、スタンプラリーを実施して、チェックポイントごとに博物館に向っていくのも面白いと思います。

バスの運行について、稲羽線の三柿野駅から各務原高校の間ですが、高校生の移動が多いように感じられるので、折り返し便を活用すると良いと思います。

【市長】各務原市内は JR と名鉄で 16 駅あります。ふれあいバスは鉄道の駅を軸として運行のリニューアルをしました。岐阜かかみがはら航空宇宙博物館には、各務原市役所前駅から平日 12 便、休日 7 便、三柿野駅から平日 7 便、休日 3 便あります。博物館の為だけにレンタサイクルするよりは、ふれあいバスで市内を周遊していただくということを、市としては考えています。スタンプラリーについては、各種博物館とのスタンプラリー、或いは高速道路利用での周遊プランなどと連動したスタンプラリーを実施しています。今後もスタンプラリーについては機会あるごとに実施していきたいと思っています。

ふれあいバスについて、各務原高校の合格発表の日に担当職員が伺って PR をさせていただいています。また、稲羽線・川島線について、来年度拡充や増便をしようと考えています。皆様から頂いた声によって運行しておりますので、またアドバイスをいただきたいと思っています。

【参加者】ふるさと納税について、どのような PR 活動をしているのかお聞きしたいです。

【市長】カタログや、インターネットへの掲載によって PR をしています。また、博物館に特定してふるさと納税をする企業さんが多かったことが、全国に先駆けた先進事例ということで、来月内閣府から表彰をしていただけることになりました。先進的に行ったということも PR になると思います。（※1）

【参加者まとめの言葉】色々な分野について聞くことができ、市について詳しく知ることができました。直接お話しできる場を設けていただきありがとうございました。また、これからは学生をはじめとして、若者が市の企画に参加できるような機会を設けていただければ嬉しいです。

【市長まとめの言葉】各務原市の有効求人倍率は非常に高いので、皆さんは既に求められている人材です。求められている人材だからこそ、今日のような経験をもっとしていただいて、自分のプラスにしていいただければ、仕事やプライベートに楽しみを見つかることができ、人生を謳歌することに繋がると思います。これからは色々なことに関心を持っていただいて、頑張ってくださいと思います。

（※1）1月22日に内閣府より地方創生応援税制に係る大臣表彰を受賞しました。